(ID　0　) ☆7

治療計画書

療法名　三酸化ヒ素寛解後　療法　1サイクル＿＿日

疾患名　再発・難治性急性前骨髄球性白血病

注射 / 内服 / 放射線	Rp	商品名 / 照射部位	用量(/回) / 用量(/日) / 照射量	投与ルート / 用法	投与時間	1							2							3							4						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
注射	1	生理食塩液	500 ml	点滴	キープ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
注射	2	生理食塩液	50 ml	点滴(側管)	15分	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
注射	3	トリセノックス 生理食塩液	0.15 mg/kg 250 ml	点滴(側管)	2時間	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
注射	4	生理食塩液	50 ml	点滴(側管)	ルートフラッシュ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
注射	5																																
注射	6																																
注射	7																																
注射	8																																
注射	9																																
注射	10																																
内服	1																																
放射線			Gy																														

特記事項

・最大25回施行する(5週間の間に施行)。
・QT延長、致死的不整脈の有害事象があるため心電図モニターおよび週2回の心電図施行が必須。
・K値4mEq/L以上、Mg値1.8mg/dl以上に維持する。
・急性血管反応(潮紅、頻脈、浮動性眩暈、立ちくらみ)が出現した際は4時間まで投与時間を延長する。症状が高度な場合は消失まで投与を中止し、投与再開時は投与時間を延長する。適切な補液も施行する。
・制吐剤は必要時投与する。

減量規定

薬品名					
標準投与量					
1段階減量					
2段階減量					
3段階減量					